

麻疹(はしか)に注意しましょう！

麻疹は感染力の強い疾患です。麻疹に罹ったことがなく予防接種を受けていない方や予防接種が1回接種であった方(26歳から44歳)は十分な免疫を獲得していない可能性があるため、特に注意してください。

○麻疹とは？

麻疹は、空気・飛沫(咳やくしゃみ)・接触感染とさまざまな経路で起きる病気で、感染力は極めて強いとされています。麻疹に感染した場合は、10日～12日の潜伏期を経て、発熱で発症し、重症な場合は肺炎や脳炎を起こすことがあります。

○どんな症状ですか？

カタル期(3～5日間)は38℃前後の発熱、咳、鼻水、結膜充血がみられます。その後、発疹期(4～5日間)に再び高熱となり、赤い小さな発疹が、耳の後ろから顔面に出はじめて次第に手足などに広がります。



○麻疹にかからないためには？

予防には、麻疹のワクチンを接種することが最大の方法です。

すでに麻疹にかかったことがある人は、再びかかることはありません。

「麻疹のワクチンを接種したことがあるかどうか」は母子手帳などで確認してください。

過去に予防接種を受けておらず麻疹にかかったことがない人には、予防接種を受けることをお勧めします。接種の際は、医師にご相談下さい。

<定期予防接種の年齢>

第1期 1歳の間

第2期 小学校就学前の1年

○麻疹にかかってしまったら？

早めに医療機関に相談、受診して下さい。麻疹患者と直接接していた場合は、受診の前に必ずそのことを医療機関へ電話等で伝えてください。

また、人へうつさないように外出は控えましょう。

★麻疹に関するお問い合わせ・ご相談は、最寄りの各健康福祉事務所(保健所)へ。
★麻疹に関する情報は兵庫県ホームページに掲載しており、随時更新しますので、ご参照ください。
(https://web.pref.hyogo.lg.jp/hw12/hw12_000000062.html)